



地域デビューでまちづくり.....

FRONTIER

横山新市長が語る 市民活動への思い

1. 市民活動が大好きです

子育てが一段落した頃から「学校給食の自校化を進める運動」「北総線の運賃値下げ運動」「合併への住民投票運動」「ホテル建設反対運動」など多くの住民運動に関わりました。署名を集め、議会への請願も行いましたので、議会や行政からは「何でも反対する人」と思われていたようです。こどもや環境に関するボランティアも沢山やってきました。やらなければ何も変わらない、しかし、皆でやれば変えることができるかもしれない・・・その可能性を求め続けてきたのです。

2. 白井市市民参加条例

条例の前文には、「市民一人ひとりが持つ豊かな創造性、知識、経験等を十分にまちづくりに活かしながら、より開かれた行政を展開し、市民主体のまちづくりを行う」とあります。市民も積極的に関わって作られた条例の中には行政の情報公開と説明責任、市民の自発性、市長提案での住民投票、審議会の公募委員制、市民参加評価規定なども入り大変意義のある条例です。

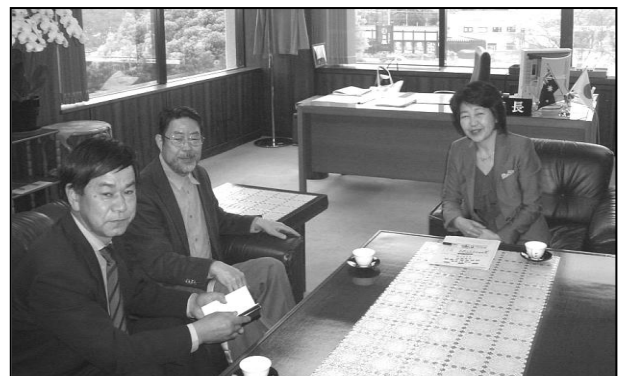
3. 市民との協働への期待

行政の計画目標よりも市民の意識が高い場合は、市民参加により高い目標到達ができることとなります。例えば環境保全を例に取れば、市民のイニシアティブにより保全が実現できることがよくあります。また、市内のある介護サービス団体は、人間性を重視したサービスを構築し、地域を巻き込んだ活動を展開しています。

市民活動は様々な可能性を秘めています。今後は、市民の力が地域の住民生活を豊かにするために使われることを期待したいものです。行政が担ってきた公的なサービスを市民団体が担う社会をめざしても良いと思います。

団体育成をどう図るか、どのような仕組みを作って公的なサービスを市民の手にゆだねていくのか、全体計画を作る必要があります。

白井市は特に団塊の世代が多く住んでいます。そのパワーと思いを地域の中に是非発揮していただくためにも「仕組み」づくりに取り組んでいきます。
(横山久雅子・記)



横山市長と情報部会員

私が退職した今から約 10 年前刊行された白井の散策マップを見て、これを土台にして一つ徹底的に市内の史跡・名勝を探訪し、併せてその歴史的な背景を考察した自分の郷土史をつくってみようと思立ちました。しかし探訪の道すがら手入れ不足の山野と、不法投棄物の多さを発見して「里山の景観は遠望すべし、近寄るべからず」という言葉が当時の私の口癖になっていました。そこで探訪も結構だが、それよりも環境整備を優先すべきであろうと思いついて軽率にも自然環境の整備保全活動という二つの世界に迷い込んでしまいました。

自然環境の保全活動には水、大気、山野、農地とこれらを含む自然景観など幅広い対象分野があります。このうち私達が取り組んでいるのは白井北東部域の山林・原野、休耕農地とそれを取巻く川、池沼を含む里山景観の保全活動ですが今回は紙面の都合上里山の保全作業を紹介してみたいと思います。

作業の第一段階は作業フィールド周辺の不法投棄ごみの処理と回収です。これは取り組んでいる全ての活動分野とも共通の作業ですが、難物は粗大ごみや永年にわたって棄てられた生活ごみの大堆積の始末と新規に投棄ごみの回収作業です。これは市民のモラルが向上して不法投棄がなくなるまで続くこととなります。第二段階の作業は、樹林地の下生え、雑木の刈り取り、次に倒木の搬出、間伐作業に続いて廃材処理があります。これは資源の循環活用の見地から重要な作業に位置づけられています。原野・草地の整備分野では人の背丈以上に伸びた葎、ススキ、葛、小灌木の刈り取り作業を、それから草木の根の除去作業を実施していきます。さらに全作業地の保全作業として年数回の下草刈り、枯れ枝拾いを実施しています。これら一連の作業を経て「近くで見ても林内を散策しても快適な里山自然公園」に仕上がっています。

保全活動に対するメンバーの評価

私達の組織では公益性のある活動は無報酬です。作業も夏は暑く、冬は寒い上に手弁当という決して楽とは言えない活動で、多くの人は何と酔狂な人達だと言います。ところがメンバー数は年間 2 桁台の増加が続いているのです。その理由は一体何なのでしょう？そこで私が参加者から意見を聴取した大要は以下の通りでした。「自分の好きな作業を選べ、作業計画細部は自らが策定できる。作業の成果を社会から、それなりに評価され、これを通じて市民交流の範囲が飛躍的に広がる。このような自己実現を体験できる活動は周辺市町村では見当たらない」などの理由が挙がりました。これらが活動への参加、継続のモチベーションかなと私は感じています。さて皆様方はどのようにお感じでしょうか？

《活動紹介》 白井の自然を考える会



会が発足するまで

白井駅から南へ約 10 分、白井高校の正面を過ぎた所で台地が切れ、遊休田（つい最近埋め立てられ一部畑になっています）と対岸の林が一望できます。目を凝らすと、遊休田の中央部に川が流れていることがわかります。印旛沼流域の一級河川二重川です。日本経済がまだバブルの中であった 1990 年ごろ、二重川周辺一帯にゴルフ場計画が明らかになりました。このゴルフ場反対の運動がきっかけとなって、白井とその周辺の自然と開発の調和を考える住民組織にしようと翌 1991 年、「白井の自然を考える会」として発足しました。（ゴルフ場計画はバブル崩壊後立ち消えになりました）

活動内容

発足当初は、請願の提出や「二重川自然公園構想」を発表するなどの活動展開でしたが、次第に「自然と親しむ」的活動が多くなりました。春のクリーン作戦（不法投棄ゴミのかたづけ）、秋の炭焼き体験会（竹炭や鑑賞炭を作ります）、冬の写真コンテスト展（テーマは北総の四季や行事）や自然観察会、自然散策会などを行っています。また、谷田、武西地区（白井市と印西市にまたがる企業庁所有地）の林と原の保全に向けて他の団体と共に活動しています。定例会は毎月 1 回、会報は奇数月（年 6 回）発行し配布されます。入会はいつでも歓迎、年会費は 1500 円です。ご自分の興味のある行事だけの参加でも結構です。

掲示板

白井環境ネットワークの会

★夏休み子ども環境学習バス見学会★

日 時：8月5日(水) 9:00～16:00 予定
集合場所：白井市役所
募集人数：20名
見学先：市川市現代産業技術館
新エネルギーの展示の見学、学習など
※昼食持参
参加費などの詳細はお問い合わせ下さい。
問 秋井 TEL 407-2022 FAX 407-2032

おもちゃ病院（白井）

★夏休み工作教室について★

①たわらころがし 8月6日(木)
9:30～12:00 桜台センター
②ダンシング人形劇 8月26日(火)
9:30～12:00 西白井複合センター
参加費用は200円。
対象者は小学生で10名程度です。
※詳細は広報“しろい”をご覧ください。
問 星野 TEL/FAX 498-3395

健康文化都市夢ふれ愛サークル

★自然に親しみ、そば作り、そばの花びゅうウォークなど一緒に楽しみませんか！★

6月24日 そば畑の整備作業 草取り 及び 整地作業
7月19日 そば畑の整備作業 草取り 及び 耕運作業
8月16日 そば畑の播種準備作業 ひまわり、じゃが芋、雑草の除去
8月23日 そば畑の播種作業

*畑は16号線沿い、八百パークの手前南側にあります。
農作業は天候に左右されますので 日程はあくまでも予定です。
参加希望者は2～3日前迄に電話でご確認下さい。

問 国安 TEL/FAX 186-491-2445



◆◆◆ 新登録団体の紹介 ◆◆◆



ラクティナクラブ

母乳で楽しく子育てしていく方法を含めた子育て情報を発信するほか、子育て中の母親たちに出会いの場を提供しています。毎月、母乳育児支援講座を開催したり、家族も対象のファミリーフェスタなど計画しています。問 氏家 TEL 498-4618
白井地区担当

白井・楽器演奏を楽しむ会

音楽を愛する白井市民が集まり楽器演奏を楽しむ会です。演奏をする人も聴く人も心豊かに楽しくなることを願い活動しています。各種イベントへの参加、施設への慰問など予定しています。演奏活動を通し世代を超えた仲間作りもめざしています。
(随時メンバー募集)
問 迫田 TEL 497-2836

ゴミゼロ アダプト530クラブ

「ゴミポイ捨て条例」の趣旨に則り、白井の街をきれいにすると同時に市民のマナーの向上を図ります。主な活動は、白井駅前の灰皿の清掃管理、ホームック前の中央分離帯の花植えと維持管理などです。
問 田中 TEL 491-1345

平成21年度市民活動推進センター 登録団体交流会のお知らせ

市民活動推進センター事業部会では、『ウォーキングを楽しみながら、団体間の親睦を深め情報を交換し合い、協働の場を探る』と題し、下記のとおり交流会を開催します。

●主 旨：登録団体が主体となって自らが企画し、市と協働で開催するもので、団体相互の親睦を深め、それぞれの団体の持っている情報を互いに交換し、これからの活動に活かしていくことを目的として開催します。今回は、横山市長にもウォーキングと交流会に参加していただきます。

●主 催：白井市市民活動推進センター運営委員会 事業部会

●日 時：平成21年6月20日（土） 9:30～15:00

●集合場所：白井市役所 正面玄関前

●日 程： ○ ウォーキング 9:40～11:30

案内者：しろいふるさとガイドの会

徳本供養塔・上人塚⇒白井下長殿集会所⇒伊勢宇橋の碑⇒
みたらしの池⇒榛名神社⇒白井鳥見神社⇒旧白井宿⇒秋本寺
⇒庚申塔⇒中央公民館別館

○ 昼食 11:30～12:30

中央公民館別館

○ 団体交流会 12:30～14:30

横山市長と『市民活動について』意見交換

○ 解散 15:00

白井市役所 正面玄関前

● 問い合わせ先：市民活動推進センター

TEL 498-0705 FAX 498-0706

E-mail：npo-461@bz01.plala.or.jp



昨年の様子



【印刷機が新しくなりました】

～自治会等もご利用できます～

★印刷機の料金について

旧印刷機 原紙1枚 35円
インク代 50枚につき 15円

新印刷機 原紙1枚 30円
インク代 25枚につき 10円

コインバンダーになりましたので、お札の利用・
両替等はできませんので、コインのご用意をお願い
します。

*詳細は推進センターにお問い合わせください。

編集後記

FRONTIERは年4回、白井市民の皆様
に配布しています。今回からスタッフの一員となり
ましたが、発行までには、多くの知恵と手間そし
て沢山の方の協力が必要なのだと感じました。

トップページの横山新市長の記事はいかがだ
たでしょうか。これからも市民活動に関する充実
した内容を目指しますので、ご愛読よろしくお願
いします。（迫田妙子・記）

2009年6月発行/白井市市民活動推進センター
白井市堀込 1-2-2 TEL:498-0705
E-mail:npo-461@bz01.plala.or.jp